

富津市健康づくり推進協議会会議録

1 会議の名称	富津市健康づくり推進協議会
2 開催日時	平成28年7月26日(火) 14時00分～14時50分
3 開催場所	富津市役所4階 401会議室
4 審議等事項	(1) 富津市健康づくり推進協議会会長及び副会長の選出について (2) 平成27年度事業実績について (3) 平成28年度事業について
5 出席者名	岡根茂会長、田中治実副会長、飯島武志委員、能城美佐子委員、大野泰代委員、永井敏子委員、雨笠正昭委員、小泉定男委員、佐久間文明委員、渡邊まさ子委員 佐久間市長、磯貝健康福祉部長、赤井健康づくり課長、渡邊国民健康保険課長、藤寄健康づくり課長補佐、栗本国民健康保険課長補佐、平野(順)主査、平野(幸)主査、鹿島主査、圓川総括保健師
6 公開又は非公開の別	公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	0人
9 所管課	健康福祉部健康づくり課
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

## 富津市健康づくり推進協議会会議録

	発 言 内 容
藤寄補佐	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開会の宣言</li> </ul>
赤井課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員紹介</li> <li>・ 事務局紹介</li> </ul>
藤寄補佐	<p>本日の会議の内容は、富津市情報公開条例第 23 条の規定により公開となる。傍聴人はいない。</p> <p>13 名の委員のうち出席者 10 名で過半数を超えているため、富津市健康づくり推進協議会設置要綱第 6 条第 2 項の規定により会議が成立する。</p>
佐久間市長	挨拶
藤寄補佐	<p>所用により市長についてはこれで退席させていただきます。</p> <p>次第 3 議題の (1)「富津市健康づくり推進協議会会長及び副会長の選出について」だが、本協議会委員の任期満了に伴い、4 月 1 日付で新たに委員を委嘱したので、現在、会長・副会長が決まっていない。については、会長及び副会</p>

	<p>長が決まるまでの間、事務局案として、仮議長を前副会長の田中治実委員にお願いしたいが、了承いただけるか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
藤寄補佐	<p>田中治実委員に仮議長をお願いする。議長席をお願いしたい。</p>
田中仮議長	<p>会長が決まるまでの間、暫時、仮議長を務めさせていただく。</p> <p>会長及び副会長の選出方法について、事務局より説明をお願いします。</p>
藤寄補佐	<p>会長及び副会長の選出は、富津市健康づくり推進協議会設置要綱第5条第1項に「本協議会に会長及び副会長を置き、それぞれ委員の互選によりこれを定める」と規定されている。</p>
田中仮議長	<p>事務局より選出について説明があったように、会長及び副会長の選出については、それぞれ委員の互選によるとい</p>

	うことだが、互選の方法は、投票と指名推薦があるが、いかがするか。
大野委員	指名推薦の方法でよろしいかと思う。
田中仮議長	お諮りする。指名推薦という意見があったが、会長及び副会長の選出は、指名推薦の方法で行うことに異議ないか。
全委員	異議なし。
田中仮議長	異議なしと認める。会長及び副会長の選出は指名推薦の方法によることとする。
	会長の推挙をお願いする。
雨笠委員	会長は、教育長の岡根茂委員がよろしいと思う。
田中仮議長	教育長の岡根茂委員の推薦があったが、他に推挙される方はないか。
	なければ、推薦のあった岡根茂委員を会長ということ

	<p>で、異議はないか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
田中仮議長	<p>異議ないものと認め、会長は岡根茂委員にお願いする。</p>
藤寄補佐	<p>議事の途中であるが、会長が選任されたので、以上で仮議長の職が解かれる。</p> <p>議事の進行については、富津市健康づくり推進協議会設置要綱第6条第1項の規定により、会長が議長となる。</p> <p>岡根会長には議長席にお願いする。</p>
岡根議長	<p>—議長挨拶—</p> <p>続いて、副会長の推挙をお願いする。</p>
雨笠委員	<p>副会長には、前副会長の田中治実委員を推薦する。</p>
岡根議長	<p>ただいま前副会長の田中治実委員の推薦があったが、他に推挙される方はないか。</p> <p>なければ、推薦のあった田中治実委員を副会長というこ</p>

全委員	<p>とで異議はないか。</p> <p>異議なし。</p>
岡根会長	<p>それでは、副会長として田中治実委員にお願いする。</p> <p>つづいて、議題（2）に入る前に、会議録署名委員を私から指名させていただく。</p> <p>会議録署名委員に飯島委員、能城委員のお二方にお願いする。</p>
両委員	<p>了解した。</p>
岡根議長	<p>それでは、議題（2）に入る。</p> <p>（2）の「平成27年度事業実績について」を議題とする。</p> <p>事務局の説明を求める。</p>
赤井課長	<p>平成27年度事業実績について説明する。</p> <p>会議資料3ページ</p> <p>（1）健康増進事業、〔1〕健康増進法による健康診査だが、健康増進法による40歳以上の医療保険未加入者の生</p>

活保護受給者を対象とした健康診査である。平成 27 年度の実績では、40 歳以上で対象者 160 人に対し 28 人が受診し、受診率は 17.5%であった。

次の、〔2〕若年健康診査は、市独自で実施している健康診査である。対象者は 2,127 人、398 人が受診し、受診率は 18.7%であった。

#### 会議資料 12 ページ

若年健診有所見者状況である。平成 20 年度から生活習慣病の発症・重症化予防のため、各保険者による特定健診が行われているが、富津市国保の特定健診では、5 人中 4 人は検査結果に異常が見られる実態がある。

18 歳からの若年健診の結果からも、上段の「摂取エネルギーの過剰」が原因と考えられ、すでに正常を超えている検査項目がある。特に男性が目立つ。更に、体重増加による内臓脂肪の蓄積などで、「すでに血管を傷つける」段階の正常値を超えている項目もある。これは、過食やバランスの乱れた食事、活動量の低下などの生活習慣の乱れが原因と考えられ、若い年齢層からの生活習慣病の発症予防が重要視される。

特に富津市は、千葉県内でも人工透析実施者の割合が多

く、健診を受けていない、または重症化してから健診を受けるといふ実態があり、このことが糖尿病や高血圧など生活習慣病による、腎臓の「血管」の動脈硬化の原因となり、人工透析者の増加につながっていると考える。

そのため、体が改善しやすい若い年齢のうちから健診を受ける習慣を持ち、自分自身で健診の検査数値から体の変化を理解し、生活習慣を考えることが重要であると考え、保健指導を実施している。

若年健診は、自覚症状がなく知らないうちに進行していく「腎不全」や「脳血管疾患」・「虚血性疾患」といった重大な「血管病」の発症をできるだけ早い年齢のうちから、住民一人ひとりが自ら防いでいくための、自分の体を理解する健診として、今後も推進していく。

#### 会議資料 3 ページ

〔3〕 肝炎ウイルス検診であるが、肝炎ウイルスに関する正しい知識の普及等を目的に、C型肝炎、B型肝炎に感染しているかどうかの検査を実施したものである。40歳から70歳までの5歳刻みの方に、はがきにより受診勧奨をした。対象者は3,602人で、708の方が受診し受診率は19.9%であった。

会議資料 4 ページ

〔4〕健康教育・健康相談であるが、生活習慣病予防への理解を深めていただくとともに、健康的な日常生活が送れるよう健康、栄養に関する教室等を開催した。

①健康教育、「結果説明会」「出前講座等」「健康栄養教室」であるが、健康診査受診者を対象に行ったもので、1,707人の参加があった。

次の②健康相談であるが、その内の健康相談については、健康診査の受診者を対象に健診結果説明会後に事後の保健指導を行い、参加者は1,226人であった。

栄養相談については、健康診査受診後に行う生活習慣病予防の食事相談で、参加者は110人であった。

続いて、〔5〕訪問指導であるが、病気を早期に予防するため、必要に応じて保健師、栄養士が各家庭に訪問し指導している事業である。人数等については、記載のとおりである。

会議資料 5 ページ

(2) 母子保健事業であるが、妊娠中の栄養、乳児の離乳食、幼児の食事、乳幼児の生活指導、保健指導を行い母子の健全な成長を図るためのものである。

〔1〕母子相談の教室などの実施回数、人数については、記載のとおりである。

〔2〕妊婦乳児健康診査であるが、健康な妊娠、出産を迎えるための健康診査である。

妊婦健康診査の健診は14回で、延べ2,616人、乳児健康診査は2回で延べ317人の受診があった。

次に、〔3〕1歳6か月児健診・3歳児健診であるが、1歳6か月児健診で受診者199人、受診率85.4%、実施回数は9回であった。3歳児健診で受診者214人、受診率80.8%、実施回数は12回であった。

次に、〔4〕母子保健訪問指導等であるが、妊娠、出産・育児が健全に行われていくよう支援するため、母子保健指導を実施いたしました。

27年度においては、延べ人数で妊産婦356人、新生児149人、乳幼児229人である。

会議資料6ページ

(3) 予防接種事業について説明する。

定期予防接種は、予防接種法に基づき実施しているもので、実績は、一覧表に示したとおりである。その中の3種混合（ジフテリア、百日せき、破傷風）予防接種だが、

平成 24 年度からポリオが加わり 4 種混合予防接種となり移行したことに伴い、27 年度の予防接種実施者はいなかった。なお、3 種混合ワクチンは平成 26 年度に製造中止となっている。

定期予防接種の欄の「水痘」、「高齢者肺炎球菌感染症」については、26 年 10 月から定期予防接種に追加になっている。

#### 会議資料 7 ページ

(4) がん検診、〔1〕胃がん検診であるが、40 歳以上の市民の方を対象に胃部 X 線間接撮影を実施し、779 の方が受診し、受診率は 4.5%であった。

次に、〔2〕子宮がん検診であるが、20 歳以上の女性を対象に、個別検診で 4 月から 1 月まで実施、集団検診では 7 月に実施し、個別で 874 人、集団で 305 の方が受診し、受診率は、9.8%であった。

#### 会議資料 8 ページ

〔3〕乳がん検診であるが、30 歳以上の女性を対象に 10 月と 11 月に、超音波検査とマンモグラフィを実施した。個別で 33 人、集団で 1,288 の方が受診し、受診率は 11.5%であった。

〔4〕結核・肺がん検診であるが、40歳以上の市民の方を対象に胸部X線撮影を行ったものである。3,997の方が受診し、受診率は22.8%であった。

次に、〔5〕喀痰検査であるが、肺がん検診受診者の50歳以上で、問診により6か月以内にたんに血が混じっている方、喫煙指数が600以上に該当した方を対象に、検査を行うもので55の方が受診し受診率は49.1%であった。

#### 会議資料9ページ

〔6〕大腸がん検診であるが、5月から12月に40歳以上の市民の方を対象に、便潜血反応検査を実施し1,518の方が受診し、受診率は8.7%であった。

子宮がん検診・乳がん検診・大腸がん検診については、一定の年齢の方に無料となるクーポン券を送付し検診を促した。

以上が各種健康診査、がん検診の状況である。

がん検診については、前年度と比較すると横ばいあるいは増加となっているが、乳がんと子宮がんについては、昨年9月に著名なタレントが乳がんであることを発表したことが影響し、受診率が増加したと考えている。

各種がん検診受診率向上のため、4月の回覧で「各種健診・検診のご案内」を各世帯に配布するとともに、検診月においても、広報紙及びホームページへの掲載や安全安心メールを利用し周知を行っている。

また、対象者の方々に、受診勧奨通知や各種総会などへ出向いて受診勧奨を行ったり、成人式や、保育所、幼稚園、小学校といった若年層の保護者に対し受診の案内文書を配布したり、各種がん検診時及び健診結果説明会等でも受診勧奨を行っている。

今後も受診率を引き上げるため、受診勧奨を行っていきたいと考えている。

続いて、(5) 栄養改善事業である。食生活改善推進員の資質向上のための栄養教室や推進員養成のためのわくわく栄養教室等を食生活改善推進員と管理栄養士の協働により実施した。

栄養教室であるが、食生活改善推進員に対する情報提供、技術指導等であり、14回行い延 323 人の参加があった。

次に、わくわく栄養教室であるが、食生活改善推進員になるための養成教室であり、隔年で行っているため、27

年度は実施していない。

次に、推進員活動支援であるが、スポーツフェスタ等のイベントや健診会場等で推進活動の支援を行ったもので、98 回開催し 682 人の参加があった。

次に、食生活改善事業であるが、一般市民を対象に 6 回開催し 441 人の参加があった。

食育教室であるが、地域の子育て教室等へ出向いて行ったもので、4 回実施し 91 人の参加があった。

次に、献血事業であるが、日本赤十字社千葉県赤十字血液センターが事業主体である。移動採血車の日程を調整し、企業等に協力を依頼し実施している。

輸血用血液の重要性は年々増えており、更なる献血思想の普及推進を行い、200ml の献血者 103 人、400ml は 954 人であった。

次に、自殺対策推進事業については、自殺対策を総合的に推進するため、市民一人ひとりの気づきと見守りを促すことの周知を行った。内容については、記載のとおりである。

以上で健康づくり課の平成 27 年度事業実績についての説明を終わる。

渡邊課長	<p>次に、国民健康保険課特定健診推進係の『平成 27 年度の特定健康診査等事業実績』について報告する。</p> <p>資料 10 ページ</p> <p>事業目的は、「被保険者の健康の保持増進を行うとともに医療保険制度を安定的に存続させるため『高齢者の医療の確保に関する法律』の規定により医療保険者に義務付けられた」もので『第二期特定健診等実施計画』に基づき実施している。</p> <p>特定健診は、「糖尿病等の生活習慣病予防のためにメタボリックシンドロームに着目した」もので、40 歳以上 74 歳までの被保険者を対象に、集団健診方式と個別健診方式で 5 月から 8 月に実施している。健診項目では、国の必須項目のみでなく糖尿病や慢性腎臓病等の予防のために項目を追加して実施している。自己負担額は 500 円で、70 歳以上や非課税世帯の方は無料となっている。</p> <p>特定保健指導は、動機付け支援・積極的支援に該当する方々に実施する保健指導である。</p> <p>特定健康診査の事業結果は、表の右下にあるように受診率は 44.54% の見込みである。平成 26 年度確定値は 45.2% であるので比較すると若干低くなっている。</p>
------	---

	<p>未受診者対策としては、地区の総会や保育所・消防団等に対して受診勧奨説明会の実施、また新たに 40 歳になる人や 40 歳代～50 歳代の若い層の未受診者に対する夜間・休日の家庭訪問等を実施した。今後も引き続き受診率向上に努める。</p> <p>会議資料 11 ページ</p> <p>特定保健指導事業については、目標値 60%のところ表の右下にあるように 65.67%と目標を達成している。特定健診も特定保健指導も実施率が確定するのは今年の 11 月頃となっている。</p> <p>以上で、『平成 27 年度の特定健康診査等事業実績』についての報告を終わる。</p>
岡根議長	これより質疑に入る。質問、意見等あるか。
全委員	特になし。
岡根議長	<p>特になければ、(3) の「平成 28 年度事業について」を議題とする。</p> <p>事務局の説明を求める。</p>

赤井課長

会議資料 14 ページ

健康増進事業については、健康増進法に基づき生活保護者及び若年層の健康診査を実施し、生活習慣病の予防や早期発見及び保健指導等の保健事業を総合的に実施していく。また、対象者への肝炎ウイルス検診の実施や健康診査後の受診者に対する健康教育、健康相談、訪問指導を実施する。予算額は 7 百 63 万 4 千円である。

次に、母子保健事業であるが、母子の健康保持増進を図るため、母親及び乳幼児に対し健康診査、保健指導を実施する。予算額は、2 千 4 百 29 万 2 千円である。

次に予防接種事業であるが、予防接種法に基づき、感染症の流行を予防し市民の健康維持を図っていく。予算額は 8 千 1 百 17 万 9 千円である。

会議資料 15 ページ

がん検診事業であるが、がんによる死亡者数を減少させるため、各種がん検診を実施し、がんの早期発見に努めるとともに、受診率の向上に努める。子宮がん、乳がん検診については、該当年齢の方に無料クーポン券を送付し受診勧奨を行う。予算額は、2 千 8 百 3 万 4 千円である。

次に、栄養改善事業であるが、市民の健康増進のため、

各種健康づくり教室や栄養相談を開催し、生活習慣の改善指導を行う。予算額は、32万3千円である。

次に、献血事業であるが、地元協力団体を軸として一層の啓発と献血の推進を図っていく。予算額は5万2千円である。

次に、健康づくり推進協議会事業であるが、保健計画の策定及び進行管理に関することを協議、検討する。予算額は、3万6千円である。

#### 会議資料 16 ページ

休日在宅当番医事業であるが、地元医師会の協力のもと輪番制により実施する。また、歯科医師会の協力を得、年末年始の歯科在宅当番医事業を実施する。予算額は、2万2千5百円である。

次に、君津中央病院負担金である。これは、君津地域4市を構成団体として運営されている、君津中央病院の医療施設及び医療内容の充実等といった病院運営費等に係る負担金である。予算額は、2億7千2百19万2千円である。

最後に、広域市町村圏事務組合負担金であるが、これは夜間の急病に対する医療体制として設置された君津郡市

渡邊課長	<p>夜間急病診療所と、休日と夜間に直ちに入院治療を必要とする患者への治療を行う二次待機施設の運営費等に対する負担金で、予算額は、3千1百51万8千円である。</p> <p>以上で、平成28年度健康づくり課の実施事業についての説明を終わる。</p> <p>次に、国民健康保険課特定健診推進係の『平成28年度の特健康診査等事業』について説明する。</p> <p>会議資料17ページ</p> <p>特定健康診査については、受診率の目標は第二期特定健診等実施計画に沿って56%となっている。健診は8月で終わるが、未受診者に再度案内し、10月下旬に4日間ほど追加の健診を予定している。健康管理のために健診を活用するよう、受診率の向上に向けて引き続き取り組んでいく。</p> <p>特定保健指導の目標値は60%で、目標は達成しているが、糖尿病等生活習慣病の重症化予防への取り組みも続けて実施していく。</p> <p>以上で、『平成28年度の特健康診査等事業』について報告を終わる。</p>
------	---

岡根議長	<p>これより質疑に入る。質問、意見等あるか。</p> <p>確認だが、これらの事業は、前年度と引き続きの同様の事業ということによろしいか。</p>
赤井課長	<p>同様である。</p>
岡根議長	<p>質問はあるか。</p>
渡邊委員	<p>前年度の受診率を見ても高いとは言い難く、今年度も同様の事業ということだが、受診率が低いという原因を突き止めているのか、また新たな施策はあるのか。</p>
岡根議長	<p>事務局いかがか。</p>
赤井課長	<p>この地域の特性が原因の一つと考える。自分の体のことは自分で知っており、現在健康であり、病気ではないから検診には行く必要がないと考えている方が多いと思う。なお、新たな施策としては、予算が厳しい中で若年健診については、今年度郵便により 30 歳から 39 歳の方に対し受診勧奨を行っている。その成果から来年度以降は他の検診に</p>

	も広げていきたいと考えている。
岡根議長	他に質問はあるか。
渡邊委員	ふるさと納税について皆関心があると思うが、その中に指定寄附という形で、市民の健康のために使用してほしいという寄附もあると思うが、そのような寄附を活用して、例えば「市民を応援してくれるふるさと納税を活かした検診事業であるので、感謝を込め自分の健康を増進していこう」というような呼びかけをすれば相乗効果が期待できるのではないか。
岡根議長	事務局どうか。
赤井課長	使用ができるか関係部署と協議し検討する。
岡根議長	他にあるか。
平野（幸）主査	補足だが、がん検診については40歳に到達する初めての検診対象者に対し勧奨通知を送付している。

岡根議長	他にあるか。
佐久間委員	ふるさと納税のことだが、ふるさと納税部分は今までの予算額に増額されるという解釈でいいのか。
磯貝部長	返礼品の関係もあるので、全ての指定寄附額が使用できるわけではない。
佐久間委員	その部分を差し引いた中で、今までの予算額が減らされないように寄附が使用できるのか。
磯貝部長	担当としては、それを加えた予算額にできるように予算要求していきたい。
岡根議長	予算要求時に勝ち取れるように努力していただきたい。
磯貝部長	そのように進めて行きたい。
岡根議長	他に質問はあるか。

渡邊委員	<p>スポーツフェスタの際に、骨密度検査等を実施してもらい参加者に好評であった。今年もフェスタで実施していただきたいが。また、わくわく栄養教室で脂肪の塊1キ。を見せてくれたが、今後もこのように視覚に訴えるかたちで示していただきたい。</p>
岡根議長	<p>事務局どうか。</p>
渡邊課長	<p>今年も骨密度検査を実施する予定である。</p>
平野（順）主査	<p>前回、食生活改善推進員とスポーツフェスタに参加した。今年度も推進員と参加する予定である。その中で視覚に訴えていくような、一目で分かるような物を用意し活動したいと考えている。</p>
岡根議長	<p>他に質問はあるか。</p> <p>啓発の工夫が求められているので、今後、受診率等実績があがるようお願いしたい。</p> <p>他に質問がなければ、本日の議題については全て承認ということでよろしいか。</p>

全委員	異議なし。
岡根議長	事務局から何かあるか。
事務局	特になし。
岡根議長	以上をもって、平成 28 年度富津市健康づくり推進協議会会議を終了する。